

# ゆい くに 結の故郷 越前おおの

おかの 大野市長(福井県) **岡田 高大**  
Takao Okada



## ゆい くに 結の故郷

福井県大野市は、九頭竜川の流域に位置し、緑豊かな自然環境とおいしい水と食に恵まれ、歴史、文化、伝統が息づく魅力ある奥越前の中心都市です。古くから、越前・美濃両国を街道で結ぶ交通の要所であり、莊園や城下町として発展しました。

戦国時代に築かれた越前大野城から見下ろす市街地は、短冊状に区切られたまち並みや寺院が連なる寺町通りなど、400年以上経った今でも城下町としての風情を色濃く残しています。また、市街地に続く田園地域やまちを取り囲む山々は、四季折々に変化し、その風景は心を癒やすものとなっています。

平成25年2月には、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などの本市が誇る魅力ある素材のすべてを磨き上げ、元気な大野の実現を目指すことを目的に越前おおのブランド



ブランドロゴマーク

ンド戦略を策定し、市全体のイメージを表すブランド・キャッチコピーを「結の故郷 越前おおの」と決めました。

私の育った農村では、「結」で田植えや稲刈り等さまざまな仕事を集落内でお互いに助け合っていました。が、「結の故郷 越前おおの」は、昔から今日までお互いに助け合う習慣や、多くの地域とのつながりを大切に受け継ぎはぐくんできた本市を、結がたくさん詰まった一つの故郷と表現したものです。先人から受け継いできた「結」の精神を守り育て、将来を担う子供たちが、ふるさとの良さを自ら発見し、ふるさとを慈しむ心をはぐくむためにも、これからもしっかりと子孫に伝えなければならぬと考えています。

## 健康法と趣味

「市長さんいつも忙しいのに元気ですね」と、市民の皆さまからお声掛けいただくことも多く、お気遣いに感謝しています。健康法として特別に何かをしていることはないのですが、思い起こしてみますと早寝早起きと就寝前には必ず水を飲むことを習慣としています。特に年末年始には酒席も多く帰宅は遅くなりますが、席の終盤には水を必ず頼みますし、就寝



雲海に浮かぶ「天空の城 越前大野城」

前に水を飲むことで翌朝からもすっきりと仕事をさせていただいています。また、さまざまな行政課題はありますが、やはり大野市に関わる仕事をするご自身が私の楽しみですから毎日元気が出てくるのだと思っています。

市長の仕事といいますが、毎日出張や会議ばかりではありませんので、空き時間があれば必ず趣味である読書を読みます。先人の知恵や決断が現在の私たちに受け継が



重点「道の駅」選定証授与式(右側が筆者)

れていることが感慨深く、歴史小説を好んで読みます。最も好きな武将である武田信玄公の小説が特に好きですが、それは民を大事にした生きざまに惹かれるからです。他にも政治や倫理本を読みますが、読後の充実感はもちろんですが、活字を読まないと落ち着かない自分がいることから読書はやめられないのかもしれませんが。

もちろん新聞も毎日読みますが、実はインターネットは全く使用しません。珍しく感じるかもしれませんが、私の情報源は新聞やテレビ、本であり市長室にはパソコンは設置していません。よく他の首長さんか

ら驚きの声をいただきますが、これが私のスタイルであり、この部分は改革できそうにありません。

## 道路を走って

趣味とは言えないかと思いますが、私は家用車で市役所に出勤する際に必ず寄り道して市内のさまざまな場所を視察してから登庁することを習慣にしています。最近「天空の城 越前大野城」で一躍有名になりましたが、越前大野城はもちろんのこと、工事現場や他の観光名所ばかりでなく、のどかな田園地帯なども見て回り、自分たちのまちの季節の移り変わりを実感することに幸せを感じています。

道路を走っていると考えてしまうのは、やはり「中部縦貫自動車道」のことです。関係者や市民の皆さまのご協力の下、一昨年に福井県内の中部縦貫自動車道の全線が事業化され、さらに、防災機能を兼ね備えた道の駅(仮称)結の故郷が、国の重点「道の駅」に選定されました。今後の中部縦貫自動車道全線開通と重点道の駅(仮称)結の故郷の整備により、産業・観光面における環境は劇的に変化し、道路と「道の駅」の双方が相乗効果を生むことで、地方創生につながるものと確信しています。

平成25年3月には、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の勝山ICから大野IC間が開通し、大野市内に高速道路ICへの誘導

標識が設置されました。市民の皆さまからの期待も高く、高齢者の方からは「まさか生きていくうちに緑色の標識を見られるとは。全線開通まで長生きせな」、子供さんからは「高速道路が大野から乗れるようになって嬉しい」といった前向きなお言葉をいただきます。

市長就任以来、最優先課題は道路網の整備であると考え精力的に要望活動を行ってまいりましたが、今後も引き続き中部縦貫自動車道の早期整備の実現に向けて取り組み、結の故郷づくりを柱とした地方創生を進めたいと考えています。



「中部縦貫自動車道永平寺大野道路(勝山~大野間)」の開通式典(右側から3人目が筆者)